



さいと

第116号

令和6年5月1日発行

市議会だより



議会でヤクルトスワローズを応援!!

●1月臨時会の概要●

令和6年第1回臨時会は1月22日に招集。市長提出議案1件について審議を行いました。採決の結果原案可決としました。

●3月定例会の概要●

令和6年第2回定例会は2月29日に招集。開会日は出席者全員（議員・市長等）が東京ヤクルトスワローズのユニフォームを着用して議会に臨みました。会期は3月19日までで市長提出議案53件、議員提出議案1件について審議を行いました。市長提出議案については、いずれも原案可決（うち1件は適任、1件は同意）、議員提出議案についても原案可決としました。

主な掲載内容

- ◎一般質問・・・P2～5
- ◎議案審議結果・・・P6
- ◎委員会審査概要等・・・P7
- ◎可決された意見書・・・P8

西都市議会
ホームページ

ホームページ
はこちらから↓



西都市議会

検索

マチイロ



ダウンロードは
はこちらから↓



さいと市議会だよりを
アプリで配信中!

AEDの活用・本市の野良猫対策・市営住宅について

公明党 浦田 明子



動画はこちらから↓



- 問①** AEDの公共施設の設置数と目的を伺う。
- 答** 本市が所管するAEDは、令和5年12月の時点で52の公共施設で58台となっており、心臓停止や心室細動による突然死の予防、緊急事態が発生した際に、迅速かつ適切な医療処置の提供を目的としている。
- 問②** AEDは誰でも取り扱いてできるのか伺う。
- 答** AEDは電源を入れて、ガイダンスに従って操作をしていただくだけで、誰でも取り扱いてできるが、不安に思われる方は、市民の要請で実施する、救命講習会があるので消防本部へご相談していただきたい。
- イ** 緊急事態はいつどこで起こるか分からないので、防災訓練、救命講習会でAEDの取り扱いを積極的に指導を行ってほしい事とプライバシーを配慮する為にAEDの中に三角巾と取扱説明書を入れることを提案させて頂く。
- 問③** 西都市には地域猫活動をされている団体はあるのか伺う。
- 答** 地域猫に関する業務は保健所が行っており、情報は非公開となっている。

問④ 本市では野良猫の去勢手術の助成はあるのか伺う。

答 本市では野良猫去勢手術の助成は行っていないが地域猫であれば保健所が対応している。

問⑤ 本市での野良猫対策の見解を伺う。

答 野良猫に餌を与えない指導や高鍋保健所と協力し、地域猫活動の案内を行っている。今後は野良猫去勢・不妊手術の助成など他市町村の状況を把握し参考としたいと考えている。

問⑥ 人手不足により企業が外国人労働者を雇用しているが、住まい探しに苦慮していると話を聞く、市営住宅に60歳以上の単身世帯は入居可能だが、単身世帯の外国人労働者の方を入居できないのか伺う。

答 現在の条例では、60歳未満の単身入居は不可能となっているが、今後、外国人労働者の方を含め、60歳未満の単身世帯の入居希望者が増える可能性もあること、空室率の低減等の課題を踏まえ入居資格の改正を検討中である。

問⑦ 老朽化している住宅の今後の見解を伺う。

答 今後、管理戸数の削減等、再編を踏まえた改修・改築を計画的に実施していく必要があると考えている。

選挙公約の達成度・令和6年度施政方針について

新風創生会 中武 邦美



動画はこちらから↓



問① 西都児湯医療センターについて

イ 再建について伺う。

答 現在、医療センターの経営状況については厳しい状況にあると考えている。

ロ 崩壊寸前の医療センターを速やかに再建するとの公約は、果たせていないと理解してよいのか。

答 現時点では道半ばと考えている。

ハ 西都児湯医療センターの令和4年度の損益と令和5年度損益の予想について伺う。

答 令和4年度は1億2559万6305円の経常利益である。令和5年度の予想については、入院外来患者の受け入れ数等の減少により厳しい状況にある。

問② 令和6年度施政方針で、新病院建設を本格的に始動すると述べられているが、現在の医療センターの医療体制・経営状況を踏まえた上での判断なのか伺う。

答 積極的な医師確保に取り組むことにより、経営の安定が見込まれる

ので、今後の医療体制や、経営見込みを踏まえた上で、基本計画の策定を予定したところである。

問③ 西都原ガイダンスセンターについて

イ 改修工事の進捗状況と完成までのスケジュールについて伺う。

答 本年4月に着手できるよう、工事に関連する業務委託について、現在入札の手続きを進めている。令和7年2月までに完成し、3月に業務再開の予定である。

ロ 改修工事のため1年間近く閉館となるが、大きなイベント開催時の対応はどうするのか。

答 観光案内所については、休館中も対応していく。トイレについても観光客に配慮した対応を行っていきたい。その他のイベント時の対応は、観光協会で検討いただいている。



西都原ガイダンスセンターこのはな館

大規模地震で一ツ瀬ダムは大丈夫か。活断層の有無は。

日本共産党 狩野 保夫



動画はこちらから↓



問① 施政方針において「新病院建設の早期完成を目指す」との方針を示された根拠を伺いたい。

答 令和3年に医師会や医療センターから新病院建設促進の要望書、令和5年には児湯郡5町1村から要望書が提出されたこと、策定中の医療センター経営強化プランの収支計画では、引き続き積極的な医師確保に取り組むことで経営の安定が見込まれることから方針を示したところである。

問② 物価高騰から市民の暮らしを守る支援策を求めたい。

答 消費喚起を促す施策を展開する必要があると考え、プレミアム付商品券発行事業の実施を考えている。

問③ 物価高騰等は指定管理者にも影響が出ている。指定管理料の見直しと支援策を求めたい。

答 必要な支援等について考慮する必要もあると考えている。

問④ 子育て支援について
イ 小学生までの医療費無償化は令和6年度から実施を求めたい。

答 市内外の医療機関や保護者等への周知期間が必要なことから、令和7年度から実施したい。

ロ 中学生まで無償化することは考えていないのか。

答 財政状況を考慮し、今後検討したい。

ハ 学校給食費の無償化を求めたい。

答 無償化は、国の施策として取り組むべき課題であり、国に働きかけを行いたい。

問⑤ 桜川樋門整備について

イ 桜川樋門のポンプアップ施設整備については、どのような調査が行われるのか。

答 令和6年度の早期に内水氾濫解析業務委託の契約(基準雨量や濁水状況)を行う予定としている。

ロ 今回の調査はポンプアップ施設の採択基準の見直しを求めるデータとなりうるのか。

答 採択基準の見直しを求めるのであれば、そのデータとなる。

問⑥ 大規模地震による一ツ瀬ダムの安全性と対策及び活断層の有無について伺いたい。

答 一ツ瀬ダムにおいては、最大級の地震動を想定した耐震性能の評価を実施し安全性を確認しているとのことである。なお、宮崎県内では主要な活断層は現在のところ確認されていない。

市営住宅、SWC、自転車交通、西都児湯医療センターについて

新緑会 橋口 登志郎



動画はこちらから↓



問① 市営住宅の入居率は73.1%との事だが空き部屋になる理由と対策を伺う。

答 空室の7割が高層階である。高層階は高齢者の抵抗感がある。対応策は外国人労働者、若者単身世帯への入居促進を検討している。

問② 市営住宅の本来の目的は確保した上で、西都市のまちづくり政策に合った柔軟な対応を伺う。

答 単身世帯の入居制限の廃止などを図り、目的外使用を積極的に活用し、柔軟な体制を整備したい。

問③ 西都市はスマートウェルネス首長研究会(SWC)に加盟している。これまでコロナ禍で参加できなかったようだが、積極的に参加して欲しいが市長の考えを伺う。

答 スマートウェルネスの「健幸」は、本市の総合計画の考え方と同じである。課題解決のために部局を超えた連携、縦割り行政でなく横の連携、分野にとらわれない考え方は同感である。今後可能な限り参加し、施策に活かしたい。

問④ 自転車通学交通安全教育についての取り組みを伺う。

答 市内のほとんどの学校において交通安全教室が行われ、また児童会や生徒会で交通安全に対する啓発活動も積極的に行っている。

問⑤ ヘルメット購入助成を伺う。

答 各地の状況を調査し、実施の是非や施策方法を模索する。

問⑥ 自転車レーンについて伺う。

答 西都中学校開校に向けて、「平田7号線」「聖陵2号線」の一部整備を予定し、妻高校前の「聖陵通線」も歩道整備に合わせ設置を進めていく。またレーン整備の計画策定のためのワークショップの開催に向けて、早期のフォローアップ委員会の開催を目指したい。

問⑦ 能登半島地震の支援のため西都市からもDWAAT(災害派遣福祉チーム)が行かれたと伺った。災害時の被災者救援のためには大切であるが考えを伺う。

答 災害を想定し、取り組むことは、行政の役目である。県より協力依頼があれば対応していきたい。

問⑧ 二次救急医療体制を伺う。

答 非常時に備え新病院の整備と緊急性の高い脳疾患対応は医療センターの主たる目的である。

防災減災対策・西都市都於郡歴史館について

新風創生会 村上 修乗



動画はこちらから↓



問① 能登半島地震により再度防災減災の在り方を考えさせられた。本市もいつ起こるか分からない南海トラフ地震が予測されている。また近年では夏から秋に掛けて大型台風の影響が頻発している。本市の各地域では高齢者の一人住まいが多い現状である。そこで今一度、地域と行政の連携を見つめ直すべきと考えられる。今後の防災減災対策をどの様に考えているのか伺いたい。

答 地域コミュニティによる自助、互助が必要不可欠である。そのため「避難行動要支援者」に対しては各地域の民生委員や消防団、地域包括支援センター等と連携し支援方法をまとめた個別計画を作成し災害時に支援する体制を整えている。また、各地区の公民館に対し、災害時に自助・共助が出来る様自主防災組織の設立や活動に対する補助制度を設け支援を行っているところである。

問② 「自主防災組織の設立」や「活動に対する補助制度」の詳細について伺いたい。

答 自主防災組織に対する補助制度として「西都市自主防災組織啓発促進補助金」を設け、自主防災組織の設立や活動に対する支援を行っているところである。詳細については自主防災組織を設立し補助要件を満たしていれば、「設立補助金」として加入世帯数に応じた額を交付している。また、自主防災組織が防災訓練を行った場合、翌年度に「設立補助金」の半分の額を限度として「活動補助金」を交付している。

問③ 西都市都於郡歴史館の施設オープンが遂に3カ月後と迫り今年6月にオープンされると伺っている。施設オープンまでの残り3カ月の準備はどの様に進んでいるのか進捗状況を伺いたい。

答 令和6年1月から「西の都アグリ館」内へ造作物の設置を開始、3月末までの展示制作業務委託の完了を目指し作業を進めている。また施設のオープニングセレモニーについては令和6年6月2日とし、より魅力的な催しの開催が必要となることから、これまで長年伝わってきた民族伝統芸能の披露等の検討を進めている。

政治姿勢・6年度予算・空家等対策・医療センター運営について

新風創生会 米良 弥



動画はこちらから↓



問① 橋田市長の任期も1年足らずとなったが、脳神経外科医に帰ってきてもらって西都児湯医療センターを再建するという市民との約束は達成できるのか伺う。

答 道半ばで困難と考えるが努力する。

問② 施政方針で市民の暮らしや各産業が厳しい環境にあることを認識しながら、令和6年度一般会計当初予算は前年並みで市民生活支援や産業育成に関する新しい対策が見当たらない。今後の補正等による取組みについて伺う。

答 令和5年度の繰越事業で対応することになっているが、今後、国、県の補助事業の活用や財源等を加味したうえで事業化していく。

問③ ふるさと振興基金は令和5年度末残高が34億円余りで、本市の貴重な財源となっている。このふるさと振興基金を積極的、効果的に活用するため、市民や寄附者に分かりやすい基金運用制度にするべきと思うが見解を伺う。

答 市民や寄附者がその用途について分かりやすく、納得のいく基金運用制度にしていこう。

問④ 高齢化・人口減少に伴い空き家、空き地が増加しているがその対策について伺う。

答 空き家については、実態調査をもとに第二次西都市空家等対策計画を策定し、関係者が連携して空家等の適正管理及び利活用促進を図っていく。危険空家等については、空家法に基づき適切に対処する。空き地についても市民からの情報をもとに適切に対応していく。また、庁内横断的な空家・空き地対策の体制整備を進める。

問⑤ 農地情報の把握状況について伺いたい。

答 農地情報システムを用いて一筆ごとに把握・管理し、適宜更新も行っている。

問⑥ 西都児湯医療センターの運営状況と施設整備基本計画策定について伺う。

答 令和5年度末の常勤医師は3名で、患者数も減少しており、経営は厳しい状況にある。施設整備基本計画は、医師確保を前提とした経営強化プランによる経営安定を見込んで、既存の施設整備基本構想の内容に基づき策定する。

市民の暮らしに身近な地方自治像を探る

結の会 吉岐 秀光



動画はこちらから↓



- 問① 通算4期15年余りの市長経験から次期市政への意向を伺う。
- 答 残任期間で課題解決と政策実現に取り組むことのみ考えている。
- 問② 今後の財源と財政の見通しを伺う。
- 答 歳出増加が見込まれるため引き続き財政健全化を図る。
- 問③ スポーツ推進委員活動の現状と課題を伺う。
- 答 自主事業への参加者確保の苦慮や活動の認知度不足等が挙げられる。
- 問④ 読書習慣を身につけることに對する教育長の見解を伺う。
- 答 人生をより深く生きる力を身につける大切なものである。
- 問⑤ 市立図書館の運営で、今後の改善・改良点を伺う。
- 答 蔵書の充実や電子書籍の研究などに努める。
- 問⑥ 公立放課後児童クラブ運営の一部を民間に委託するメリットを伺う。
- 答 豊富な企画や行事・保護者の利便性・支援員研修の充実によるスキルアップ・特性などを持った児童への専門的助言（心理士等）等々が挙げられる。
- 問⑦ 三財放課後児童クラブの今後の運営について伺う。

- 答 民間委託を目標とし、運営に適した施設を確保していく。
- 問⑧ 本市の自殺者数（過去5年間の平均値など）を伺う。
- 答 5年間の平均は8・2人、人口10万人当たりの自殺死亡率では、26・9人であり、大変深刻な状況。
- 問⑨ 自殺の未然防止には、医療機関（精神科・心療内科等）との連携は不可欠だが見解を伺う。
- 答 メンタルヘルスに関する普及啓発や医療機関への早期受診を促す。
- 問⑩ 精神障がいにも対応した地域包括ケアに対する考えを伺う。
- 答 保健・医療・福祉関係者等による協議の場の設置に努めたい。
- 問⑪ 新病院の早期完成に向け、優先順位（着手すべき課題等）を伺う。
- 答 優先順位をつけることは非常に難しいが、課題を抽出し、その解消に向け取り組む。
- 問⑫ 消防本部の職員採用と採用後の配置および人材育成の現状と課題を伺う。
- 答 現在の職員採用は、退職等による欠員補充。採用後約8ヶ月は県消防学校に属するため、その間の実質的な人員減が大きな課題。
- 問⑬ 消防本部における非番召集の過去3ヶ年度の総回数と延べ人数を伺う。
- 答 令和2年度が総回数72回・延べ309人、3年度が総回数108回・延べ440人、4年度が総回数77回・延べ369人。

防災対策・公共施設の老朽化問題について

すみれの会 森 祐子



動画はこちらから↓



- 問① 防災対策について
- イ 応援協定の新規締結や見直し等の進捗状況について伺う。
- 答 新規締結一件、見直し一件。引き続きすすめていきたい。
- ロ 防災士に期待することは。
- 答 自分の身が守れるよう知識習得と地域や職場で被害軽減のため活動していただくことを期待する。
- ハ 女性特有の備蓄品などの配慮や性暴力防止など女性視点での避難所運営の現状について。
- 答 更に対策・対応を進めていく。
- ニ 備蓄品の確保状況について。特に飲み水の確保は最優先事項。
- 答 8か所の設置個所に飲料水2リットル777本、食料約1万5000食、非常用トイレ処理袋1万8600回分を備蓄。
- ホ 上下水道が利用できない場合トイレの問題は命に関わる。「災害時トイレ確保と管理計画」を作成し把握と備えが必要。考えを伺う。
- 答 重要課題と認識している。現状把握と試算、備蓄確保に努める。
- 問② 公共施設老朽化問題について
- イ 市営住宅に再編等の変更事項が生じたら丁寧な説明と、設備向上等、入居者に寄り添った対応を強く要望する。これについては。
- 答 給湯設備の改修や改築の実施とあわせて管理戸数の削減や再編を行っていく。
- ロ 耐震対策も含め、更新しなければならぬ建物の現状把握と優先順位等の見直しについては。
- 答 昭和56年以前の建物は40%、大規模改修の必要な施設は66%を占め、全て更新すると40年間で約926億円が必要になる。適正管理し更新費用削減を目標にする。
- ハ 個別施設設計画は実行性をもって取り組んでいるのか。
- 答 計画通りには進捗していない。
- ニ 多額の更新費用に関して補助事業の活用などを含めた財源の考え方については。
- 答 補助制度、基金や起債等の有効活用で財政負担の軽減を図る。
- ホ 財政課が介入し事業費も含めた全庁的な優先順位や見直しを可視化し全員で意識を共有していくことが必要、今後の考えは。
- 答 財政及び管財業務を掌握する財政課が中心となり所管部署との連携を図りながら、効果的かつ効果的な推進体制の整備に取り組む。

第1回臨時会(1月22日)で審議された議案の審議結果

【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第1号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第10号)について	原案可決	全会一致

第2回定例会(2月29日～3月19日)で審議された議案等の審議結果

【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	全会一致
第3号	西都市土地改良事業基金条例の制定について	原案可決	全会一致
第4号	西都市都於郡歴史館の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
第5号	西都市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
第6号	西都市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第7号	西都市手数料条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第8号	西都原ガイダンスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第9号	西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第10号	西都市営土地改良事業に係る分担金に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第11号	西都市介護保険条例の一部改正について	原案可決	賛成多数
第12号	西都市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
第13号	西都市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第14号	西都市水道事業等の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第15号	西都市簡易水道給水条例及び西都市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第16号	西都市公民館条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第17号	西都市公民館条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第18号	西都市監査委員条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第19号	西都市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の廃止について	原案可決	全会一致
第20号	西都市新型コロナウイルス感染症緊急対策利子補給基金条例の廃止について	原案可決	全会一致
第21号	西都市教育研究センター設置条例の廃止について	原案可決	全会一致
第22号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第11号)について	原案可決	全会一致
第23号	令和5年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第5号)について	原案可決	全会一致
第24号	令和5年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第4号)について	原案可決	全会一致
第25号	令和5年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第5号)について	原案可決	全会一致
第26号	令和5年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第4号)について	原案可決	全会一致
第27号	令和5年度西都市水道事業会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第28号	令和5年度西都市簡易水道事業会計予算補正(第4号)について	原案可決	全会一致
第29号	令和5年度西都市公共下水道事業会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第30号	令和5年度西都市農業集落排水事業会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第31号	令和6年度西都市一般会計予算について	原案可決	賛成多数
第32号	令和6年度西都市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	賛成多数
第33号	令和6年度西都市営住宅事業特別会計予算について	原案可決	全会一致
第34号	令和6年度西都市介護保険事業特別会計予算について	原案可決	賛成多数
第35号	令和6年度西都市西米良村介護認定審査会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第36号	令和6年度西都市見湯障害認定審査会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第37号	令和6年度西都市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	賛成多数
第38号	令和6年度西都市見湯いじめ問題対策専門委員会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第39号	令和6年度西都市見湯いじめ問題調査委員会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第40号	令和6年度西都市見湯公平委員会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第41号	令和6年度西都市水道事業会計予算について	原案可決	賛成多数
第42号	令和6年度西都市簡易水道事業会計予算について	原案可決	賛成多数
第43号	令和6年度西都市公共下水道事業会計予算について	原案可決	賛成多数
第44号	令和6年度西都市農業集落排水事業会計予算について	原案可決	賛成多数
第45号	辺地総合整備計画の変更について	原案可決	全会一致
第46号	一ツ瀬川地区国営造成施設管理体制整備促進事業の事務の委託に関する規約の廃止について	原案可決	全会一致
第47号	綾川地区国営造成施設管理体制整備促進事業の事務の委託に関する規約の廃止について	原案可決	全会一致
第48号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致
第49号	西都市市税条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第50号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第12号)について	原案可決	全会一致
第51号	令和5年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第5号)について	原案可決	全会一致
第52号	財産の減額譲渡について	原案可決	全会一致
第53号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第13号)について	原案可決	全会一致
第54号	監査委員の選任について	同意	賛成多数

【議員提出議案】

第1号	HPVワクチン接種政策の充実を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致
—	議案第31号令和6年度西都市一般会計予算組替動議	否決	賛成少数

賛否の分かれた議案等の表決一覧

		議員名（左から議席番号順）															審議結果	
番号	件名	太田寛文	森祐子	老岐秀光	浦田明子	村上修乗	米良弥	橋口登志郎	田爪淑子	荒川敏満	黒木吉彦	中武邦美	井上司	井上久昭	狩野保夫	岩切一夫		
第11号	西都市介護保険条例の一部改正について	議長のため表決に参加しない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決	
第31号	令和6年度西都市一般会計予算について		○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第32号	令和6年度西都市国民健康保険事業特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第34号	令和6年度西都市介護保険事業特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第37号	令和6年度西都市後期高齢者医療特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第41号	令和6年度西都市水道事業会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第42号	令和6年度西都市簡易水道事業会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第43号	令和6年度西都市公共下水道事業会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第44号	令和6年度西都市農業集落排水事業会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第54号	監査委員の選任について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
-	議案第31号 令和6年度西都市一般会計予算組替動議	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	●	○	●	否決	

3月定例会 各委員会審査報告

委員長報告全文はホームページでご覧ください。



総務委員会審査概要

◎付託議案件数 11件

◎議案審議結果

全ての議案について、全会一致をもって原案可決。

◎審査の過程で出た意見・要望等

防災行政無線設備更新事業に同法系防災行政無線屋外拡声子局更新等工事に伴う予算が計上されている。南海トラフ巨大地震や大規模災害が想定されるので、適切な設備の更新や備蓄品の確保など、引き続き防災力の維持・向上に努めていただきたい。

ふるさと納税に関して、令和5年度は、前年度実績を大幅に超える寄附が見込まれており、その取り組みを高く評価したい。自主財源に限りのある本市であるので、令和6年度も引き続き適切な事務処理に努め、更なる高みを目指して鋭意取り組んでいただきたい。

文教厚生委員会審査概要

◎付託議案件数 17件

◎議案審議結果

議案第4号、21号については賛成討論がなされ、全会一致をもって原案可決。

議案第11号、31号、32号、34号、37号については、反対討論がなされ、採決の結果議案第11号、32号、34号、37号については賛成多数をもって原案可決、議案第31号については可否同数のため委員長裁決により原案可決。
その他の議案について、全会一致をもって原案可決。

◎審査の過程で出た意見・要望等

中学校教育振興事業のうち、中学校教育の教育内容の充実を図る事業は、各中学校における学校教科用消耗品等購入のための経費であるが、諸材料等の物価高騰が続く中にありながら前年度比で130万4千円の減額となっている。学校における各教科の学力向上を図るうえでも、今後必要に応じた予算の確保を図っていただきたい。
空き家対策については、空家等対策特別措置法の改正等にも対応して事業を拡大しているとのことであるが、担当職員の拡充等を含めた対策の推進体制整備強化を図っていただきたい。

産業建設委員会審査概要

◎付託議案件数 18件

◎議案審議結果

全ての議案について、全会一致をもって原案可決。

◎審査の過程で出た意見・要望等

今回の西都原ガイダンスセンターこのはな館の改修においては、
①工事期間は長期にわたるものである。期間中はせっかく訪れた観光客を失わない様に物販等は地元業者、商工関係者と話し合いをしてほしい。
②設立趣旨である、西都原から市内へ観光客への誘致については、色々な方法論が考えられる、次の案を申し述べたい。

・記紀の道に売店等を誘致して、楽しく歩け、また距離が長いので、コミユニティバスでの歩行補助等を考えて欲しい。
・自転車レーンを記紀の道に沿わせて配置すると利用者が増えると考ええる。
・物販は西都産品で品揃えできるような仕組みを考えて欲しい。
・西都原に来自る観光客を増やし、また市街地に下ろすこれらの手立てを同時に取り組んで欲しい。
③将来の西都市の観光商業を担う事業となるので、経済の効果を関係者が納得できるような数字、エビデンスを示すことができるようにして欲しい。

新田原基地対策調査特別 委員会報告

令和5年度における新田原基地対策調査特別委員会の調査活動の経過並びに結果について御報告致します。

まず、7月21日に副議長とともに、西都地区建築業協会並びに防音工事協力会との意見交換会を実施しました。

次に、8月9日に実施する予定としていた九州防衛局要望については、台風6号の接近のため中止し、要望書を送付する対応を行いました。

次に、10月5日から6日にかけて議長とともに、防衛相及び国会議員への要望活動を行いました。

次に、11月15日に11月10日から行われていた新田原基地統合演習に伺い、F35Aの離陸等の訓練視察を行いました。

次に、2月14日から15日にかけて、福岡県行橋市での基地対策に関する行政調査、築城基地視察、九州防衛局での勉強会・意見交換会を実施しました。

以上のことから、新田原基地に関連する本市の課題可決に向け、来年度も引き続き継続して活動していく所存でありますので、本特別委員会の報告と致します。

可決された意見書

HPVワクチン接種政策の充実を求める意見書

子宮頸がんは、HPV ワクチン接種により「予防できる唯一のがん」と言われています。

接種率の高い先進国では子宮頸がんは減少傾向である一方、わが国は年間約1万人強が新たに罹患し、約3,000人が亡くなっており、また約1,000人が30歳代までに治療で子宮を失っており、患者数・死亡者数とも近年増加傾向にあります。

2022年4月からHPV ワクチンの積極的勧奨が再開されていますが、約9年に及ぶ接種勧奨差し控えの影響が大きく、本県においては接種率が低く、子宮頸がんの罹患率も全国ワーストとなっています。そのような中、キャッチアップ接種については公費接種対象期間が2025年3月末までとされており、対象者が接種完了しないまま公費接種期限を迎えてしまうことが懸念されます。

男性のワクチン接種により男性自身へのがん予防効果が期待できるとともに、性交渉によるHPV感染から女性を守ることに繋がります。子宮頸がんを予防するには、ワクチン接種と性に関する正しい知識も不可欠であることと、性交渉によって感染するケースを考えると、定期接種の対象者を女子のみでなく男子にも拡大すべきであることは明らかです。

よって、本議会は、国に対し、未来に生まれ来る命を育む女性と男性の命と健康を守ることに繋がるHPV ワクチンに関する政策の充実を図るため、下記の事項を実施するよう強く要望します。

記

1. 安全性・有効性など科学的知見に基づく情報のさらなる提供を行うこと、また、副反応など多様な症状に対する措置について万全な体制を整備すること。
2. キャッチアップ世代に対する無料接種の期間の延長と、住民票を置く自治体に限らず無償とすること。
3. HPV ワクチン定期接種の対象に男子も加えること。
4. 性教育に性感染症に関する内容等も盛り込み、エビデンスに沿った正しい知識を得てもらうための性教育の充実を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月19日

宮崎県西都市議会

衆議院議長 額賀福志郎 様
参議院議長 尾辻秀久 様
内閣総理大臣 岸田文雄 様
財務大臣 鈴木俊一 様
厚生労働大臣 武見敬三 様
内閣官房長官 林芳正 様

内閣府特命担当大臣(こども政策・少子化対策) 加藤鮎子 様

編集後記

西都原台地の春を呼ぶ花々が鮮やかに咲き、今年も出会いと別れの季節が巡って来ました。

新型コロナウイルスも五類になり、卒業式や入学式も例年通りに行われ、子ども達の元気な顔を見ることが出来ました。

子ども達がその時々を大切に過ごし故郷を愛する大人になるよう期待します。一方では元日早々災害に見舞われた大変な地域がありますが、災害にもめげず前を向く人々の姿に力強さを感じます。

豊かな自然や農産物に恵まれている故郷に感謝し「抜群に住みやすい西都市」を目指し、皆で知恵を出し合い前進したいと思えます。

議会編集委員会

委員長	橋口登志郎
副委員長	村上修乗
委員	森祐子
〃	壺岐秀光
〃	浦田明子
〃	米良弥子
〃	田爪淑子
〃	荒川敏満
〃	黒木吉彦
〃	狩野保夫